Y-Hack! Gate 2 テーマ②

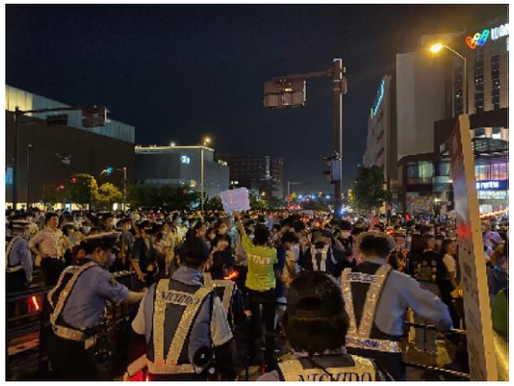
みなとみらい21地区等イベント終了時の人流の分散による回遊性向上

文化観光局 観光MICE振興部 MICE振興課

2022.10.13

現状と課題

みなとみらい21地区や新横浜地区などでは、大規模集客イベントの他、パシフィコ横浜等の集客施設でのイベント終了時に、イベント参加者が他の施設等に立ち寄ることが少なく一斉に帰路につくことで、周辺施設への集客につながりにくく、市内経済効果が得られていない。また、イベント参加者が一斉に最寄り駅や周辺道路へ集中し混雑が生じることで、事故等のリスクが高まる懸念もある。



国際橋（新港側）

みなとみらい駅

【課題】
大規模集客イベントの終了後にイベント参加者が、他の施設に立ち寄ることが少なく一斉に帰路についてしまうこと。

ワーキングの方向性

【想定する解決の方向性】
イベント終了後の参加者に対して、何等かの仕掛けを行い周辺エリア内への回遊を向上させ、周辺施設等の利用など経済効果を高めたい。（合わせて、最寄り駅や周辺道路への集中を緩和したい。）

周辺施設への回遊を促す仕掛けとして考えられる取組のアイデア例（下記例はあくまで想定です。）

〇インセンティブによるもの
- 近隣施設等の時間限定クーポン発行が可能なアプリの活用
- 位置情報を利用したオンデマンドでのインセンティブ配信
- 交通機関のダイナミックプライシングの考え方の応用

〇回遊促進によるもの
- 帰宅時間分散を促すためのデジタルサイネージの設置
- 周辺の飲食店空席情報のスマホへの配信
- 回遊性を向上させるためのスタンプラリーの導入

ワーキングでは、上記の解決の方向性について、民間企業の皆様からのプレゼン、意見交換を実施します。上記のデータやアプローチ方法以外で効果的、効率的な解決策ついても提案、検討を希望します。

実証実験に向けたワーキングへのご参加をお待ちしております。

ワーキングとは

ワーキングとは、設定した課題テーマ（横浜市の行政課題）について、デジタル技術や知見を有する民間企業等の皆さまと横浜市が、プレゼンや意見交換、議論を通して、課題の整理や、解決策の検討を行うものです。

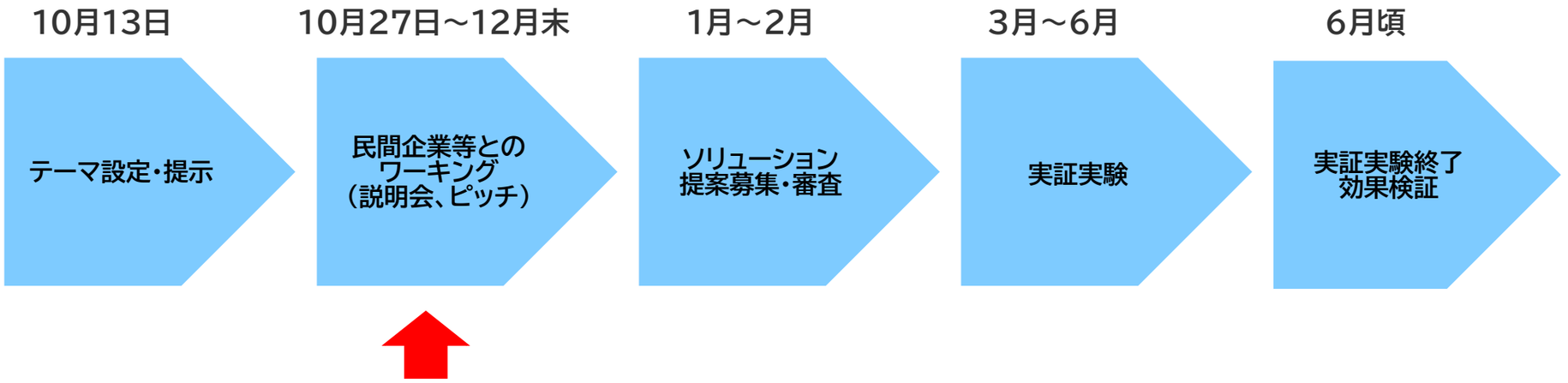
今回のワーキングは、ピッチスタイル※で実施する予定です。

※ ピッチスタイルとは、ワーキングへご応募いただいた民間企業の皆さまに、課題解決に向けたアイデアやデジタル技術の活用方法等を、所管課やデジタル・デザイン室に対し、個別にプレゼンテーションしていただく形式です。

横浜市はワーキングを踏まえて、課題解決のための実証実験の実施に向けたソリューション提案募集を行います。ワーキングの終了後、その結果を踏まえ、実証実験の実施の是非を判断します。

OPEN YOKOHAMA

スケジュールについて



・ワーキングにご参加いただける方は、
「YOKOHAMA Hack!」公式サイトよりご応募ください。
https://hack.city.yokohama.lg.jp/